

特集展示「れきぶんコレクション20年」

長崎歴史文化博物館では、特集展示「れきぶんコレクション20年」を開催中です。
ぜひ取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。



れきぶんコレクション20年

2025 10/22→12/14
2階 特集展示室

泰西王侯宮殿画（右集）当館蔵

長崎歴史文化博物館は、今年、令和7年（2025）11月3日に開館20周年を迎えます。開館当初の資料の点数は、長崎市立博物館、長崎県立美術博物館、長崎県立長崎図書館郷土課資料から移管された、約4万8000点でしたが、令和6年度（2024）の段階では8万4950点に増えています。これら「れきぶんコレクション」には、新しく収蔵された資料や、修復や他館で展示された資料が含まれています。なかには、長崎奉行所関係資料や青方文書のように、重要文化財に指定されたものもあります。



本展示では、このコレクションのなかから、開館以来20年間、様々な歴史を積み重ねてきた資料を厳選してご紹介します。

特集展示「れきぶんコレクション20年」

- 会期／ 2025年10月22日（水）～12月14日（日）
8:30～19:00 12月1日から 8:30～18:00（最終入館はいずれも30分前）
※11月4日（火）、17日（月）、12月1日（月）休館
- 会場／ 特集展示室、オランダとの交流コーナー（いずれも2階常設展示室内）
- 料金／ 常設展観覧料[大人630円、小中高生310円] でご覧いただけます
※長崎県内の小中学生、長崎れきぶん友の会、キャンパスメンバーズは無料

★開館記念 県民無料サービスデー★

2025年11月3日（月祝）の開館記念日は、長崎県民の方は本展示を含む常設展観覧料が無料

展示資料(特集展示室:15件37点、オランダとの交流コーナー:2件8点)

泰西王侯図屏風

国指定重要文化財 1988年指定

貸出 美術館・博物館 4館

修復 2017年



長崎奉行所関係資料

国指定重要文化財 2006年指定

江戸時代の長崎奉行の行政、司法、貿易統制、外交、長崎警衛、キリシタン禁圧に関する文書など1242点が指定されました。



アクアヴィーヴァ肖像画・ヴィテルスキー肖像画

新収蔵 2006年度 伊東マンショ・メスキータ神父の肖像とともに収蔵されました。

伊東マンショ肖像画・メスキータ神父肖像画

新収蔵 2006年度 当館の開館1周年記念特別展で借用。その後、長崎県の所有となりました。

貸出 美術館・博物館 6館



中西文庫

修復 2005年より館内で継続

中西文庫は医師で長崎学の研究でも大きな功績を残した中西啓(1923-2003)が旧蔵していた資料。この中には、43年前の長崎大水害で被災した資料も含まれており、開館以来継続して、館内で修復を行っています。



特別展示『ドッガバンク海戦図時絵プラーク・原画』

場所／「オランダとの交流」コーナー(2階常設展示室内)

新収蔵 2014年度(プラーク2枚・原画4枚)
2016年年度(プラーク2枚)

プラークとは18世紀末から19世紀初頭にかけて輸出用に制作された、漆器でできた大型の壁掛けのことで、原画、プラークともに揃っている例はあまりなく、注目の資料です。

